

### 北海道方面

### 關東方面

#### 北海道各支廳驛遞事務取扱主任會議

北海道廳土木部では四月中旬道會議事堂に各支廳驛遞事務取扱主任並に全道驛遞所取扱人百二十名を招集して、左記指示事項を附議した。

- 一 驛遞所規則趣旨徹底に關する件
- 二 驛遞所新設の場合の位置の選定に關する件
- 三 驛舎新築並に改築修繕工事竣工檢定の件

#### 行樂道路計畫

内務省は最近における急激なる都市發展の現状にかんがみ東京をはじめに市民の慰安場としての綠地計畫を立案し、すでに東京府及神奈川、千葉、埼玉三縣にわたる關係當局の聯合協議會を開催して體育、保健、休養に必要な施設の具體案を進めつゝあつたが、十六日午後その幹事會を開き綠地計畫中もつとも最要項目なる公園および行樂道路に關する規格案を協議決定した。右幹事會の決定によれば綠地區域にお

ける一般公園を分類して大公園と小公園とし、大公園は更に自然公園、都市公園、運動公園などに分ち小公園は更に兒童公園、幼兒公園、近隣公園などに分類してゐるが行樂道路はこれに附隨してその規畫設備利用の方法を定め市民のドライブ、散策、乗馬などに資することとした。よつて内務省は決定案を五月下旬開催すべき綠地計畫協議會に附議し正式決定をなすこととなつたが、その結果により、東京近郊の神奈川、千葉、埼玉三縣における公園が協議決定の順序となるはずである、しかしてこの綠地公園および行樂道路計畫は今後實施されるべき大都市の都市計畫事業に一定の標準を與へるもので内務省はこれを雛形として全國的統一をはかる方針に決してゐるので五月二十九日から開催する都市計畫課長會議に諮問しその意見を徴することになつたがその結果により都市計畫施行上の内規として全國都市の都市計畫事業にこれを適用せしめることに決定した。

## 清水、三國兩峠の國道

### 認定方請願

群馬新潟兩縣を直接連絡する現在の清水峠並びに三國峠を國道に認定方申請に就ては豫て群馬縣知事より新潟縣知事に對し交渉あつたが、千葉知事も右提案に至極賛成し双方連書で内務大臣に請願した。尙請願書の大意は次の如くである。

新潟群馬兩縣との連絡道路は僅かに二線に過ぎず、而も何れも國境に偏在し清水三國兩峠の險となる依て交通運輸の便を欠き事毎に困苦を感ぜしは古來筆紙に盡し難きものあり、繼て清水峠は天正慶長の時代より中央日本の横斷間道として頗る密接な關係あるものであつたから、一度明治初年國道と選定されたるも其後道路法の施行と共に廢道となり又三國峠も荒廢甚しく事實交通杜絶の狀態に在る、此現狀に於て沿線地方の不利不便は猶暫く忍ぶとするも兩縣を繋ぐ上に將又一朝

有事の見地から考察して他面文化の恩惠を均等ならしむる點に鑑みて、特に最近自動車の發達著しく道路の新設改善は眞にやむを得ぬものである。幸に鐵道上越線開通の結果表裏日本の經濟上並産業上の交渉は益々密接を加えて鐵道運輸のみにては到底消化し得ぬのであるから、宜しく時代の要求に順應して前記兩線の國道復活を切望するは獨り地方的問題にとどまらず汎く國家的見地よりも必要である。

### 栃木縣の道路品評會

栃木縣では、今回六百圓の豫算を以つて新規事業として道路品評會を設定した。同會の規程等は同縣告示で左の通り決定された。

#### 道路品評會規程

昭和八年二月二十一日  
栃木縣告示第九十八號

第一條 知事ノ管理ニ屬スル國道府縣道ニ

對シ道路愛護ノ目的ヲ以テ一定ノ期間、

區域ヲ定メテ道路ノ維持行爲ヲナス諸團體中特ニ成績優秀ナルモノハ本規程ニヨリ賞品ヲ授與ス

第二條 品評會ニ參加シ得ヘキ團體ハ一市町村内ニ於テ組織スル左記諸團體トス

一 道路保護組合 一 男女青年團

一 在郷軍人會 一 以上ノ外各種團體

第三條 團體ノ維持行爲ヲナス道路ノ延長

ハ一區間一軒以上トス

第四條 品評會ニ參加セントスル團體ハ別

紙様式ニヨル申込書ヲ其ノ市町村長、管

轄土木區事務所ヲ經テ作業初日一週間前

ニ知事ニ差出スヘシ

第五條 品評會ノ會期並維持行爲ノ作業期

間ハ知事別ニ之ヲ定ム

第六條 團體員ノ爲スヘキ道路ノ維持行爲

ハ凡ソ次ノ各號ニ依ルヘシ

一 路面ノ轍或ハ凸凹ノ箇所ハ之ヲ削リ  
均スコト

二 路面ニ突出スル大石ハ之ヲ打起シ取

除クコト

三 路面ニ大ナル凹所又ハ洗堀アル箇所ハ先ツ以テ素地ヲ打チ起シ砂利又ハ眞砂土ヲ補足シテ馴染ヲ良クシ蒲鉾形ニ仕上クルコト

四 路面ハ常ニ蒲鉾形ヲ維持セシメ排水ヲ良クスル爲メ道路縁ニ繁茂スル雜草及堆積土砂ハ總テ削リ取ルコト

但シ削リ取リタル土砂雜草ハ支障ナキ處ニ取捨テ決シテ路面ニ撒キ均ササルコト

五 路面維持ノ爲柔軟ナル泥土、塵埃、危險物等ヲ取除キ可成清潔ナラシムルコト

六 坂路ハ豪雨ノ際路面ヲ染流セラルルヲ以テ適當ニ水切ヲナシ雨水ヲ他ニ排除セシムルコト

七 路面ニ覆ハレタル竹枝木葉ハ凡テ拂フコト

八 側溝暗渠等ハ掘浚ヘ疏通ヲ妨クル障礙物ハ取除キ適當ノ場所ニ取捨ツルコト

ト

九 法面及石垣等ニ生スル樹木ハ之ヲ除去スルコト

十 橋梁暗渠等ノ輕易ナル修繕ハ前各號ニ準スルコト

第七條 知事ハ品評會會期中該吏員ヲシテ成績ヲ調査セシメ審査會ヲ開キ左ニ依リ成績ノ等級ヲ定ム

一等 二等 三等 四等 五等

第八條 前條ノ等級ニ合格シタル團體ニハ左ノ等級相當ノ賞金ヲ授與ス

一等 金 百圓 二等 金 七拾圓

三等 金 五拾圓 四等 金 參拾圓

五等 金 貳拾圓

第九條 知事ハ道路愛護ノ普及ヲ圖ル爲隨時講演會、活動寫眞會等ヲ催スコトアル

ヘシ

附 則

本規程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

三月一日から一齊朝早くから終日孜孜として作業に従事し、石垣を築き弧形を作つ

て砂利撒き迄丁度改修工事に等しい維持行爲が澤山行はれた三月二十日作業期間が終了し審査員が審査に出掛ける審査長は綜合審査員と共に全縣下に亘り綜合實地審査をした。審査擔當區域は次の様に定められた。

審査擔當區域表

方面	工區名	審査員	綜合審査員
南部方面	栃木	岩淵 技師	長島囃託
	佐野	山本 技手	坂本技師
	足利	外擔當工區主幹	鈴木技手
中部方面	宇都宮	館野 技手	龜岡技手
	日光	増淵 技手	坂寄技手
	鹿沼	各擔當工區主幹	眞田主事
北部方面	矢板	武田 技師	
	大田原	内田 技手	

廿六日から審査會が開かれたが高點争ひで容易に決しない、丁度三日を要して漸く次の様に決つた。

一等	一	百	圓
二等	一	七	拾
三等	二	百	圓
四等	三	九	拾
五等	二	六	五
計	三	三	八

參加延人員は參萬壹千餘人にして維持行爲をした道路延長は五十餘里に涉つた。

三月七日から縣下拾ヶ所而有坂道路映畫會に依頼して道路愛護活動寫眞會を開催して土木課長、道路主事が所轄警察署長の後援で映畫を利用して道路愛護の宣傳に努めたる所を喝采を博した三月三十一日午前十時から縣公會堂で褒賞授與式が舉行せられ、知事の式辭審査長の報告があつた。

## 北陸方面

### 國立公園道の築造計畫

内務省は銀山平が國立公園の一部に編入

地方通信

されたので、小出湯之谷より銀山平を越え尾瀬沼に通ずる國道を築造し自動車を行せしむる計畫を樹て縣を通じて地元湯之谷村役場へ照會があつたので同村々長は銀山拓殖會社と打合の上銀山平物産並に國道築造による産業發展狀況等を調査し同答したが同計畫が實施されたならば銀山平の鑛山並に發電事業等も漸次起工されるし、觀光客も來往するから銀山平も將來大いに發展するであらう。

### 呼子町觀賞道路改修工事

八年度時局匡救事業として新潟縣の呼子町では過般失業救濟臨時委員會を開催し協議の結果、呼子町峽谷觀賞道路を初め、町内外の改修工事施行方を申請中であつたが縣ではその後町の體裁上差當り縣工事として町内の路面凹凸修繕工事を行ふこととなつた。

### 親不知街道の改修

國道十一號線西頸城郡青海町布振村間三里即ち親不知街道は八年度より三ヶ年計畫で内務省が二百萬圓の巨費を投じて大改修を行ふに決定し、本年はその内二十萬圓を以て測量し殘餘金ある際は改修工事に影響を與へない關係工事を起すこととなつた。従つて内務省では青海町に事務所を置き青海町を起點として實地測量を行ふことに決定した。然して國道改修については現在道路を擴張せんとする案の外上路村を通さんとするもの海岸へ下げんとするものトンネルに化せんとするもの等あつたが結局現在道路に大改修を爲すことに決定したのである。

### 加茂救農道路の完成

加茂町七年度救農土木事業中の八幡線道路は三回まで路線を變更し、漸く決定したので地方部落民に請負はせて起工したが四月末に幅員二間延長二百九十間の道路が出来上つた。

### 白石河橋の架橋工事

柴田郡船岡村では八年度時局匡救土木事業として同村字町區より下名生に通ずる村道四キロの改修七千圓と、兼ねて懸案となつてゐる同村驛前より榎木町船迫區に通ずる白石河橋の架橋工事費として約一萬圓の豫算を以て木橋となす計畫で縣に對して認可方を申譯中であるが、縣では二萬圓の豫算を以つて橋脚を鐵筋コンクリートにて施行せよとの意見を有してゐるので目下交渉中である。縣當局の意見に従へば同村では八千圓の村費支出となるのでその負擔に堪えることは困難と見られてゐる。

### 農村振興の橋梁架替計畫

新潟縣では獨自の立場から農村振興事業として七年度から九年度に至る三ヶ年繼續の橋梁架替計畫は既に七年度分は縣會の議決済みとなつてゐて總工費二十二萬圓、十四ヶ橋の架替中、現に起工中のものは西蒲

朝嵐橋、同夕榮橋、岩船明神橋、北蒲菅谷橋、中頸桑會根橋、佐渡鍛冶橋、同羽茂川橋の七ヶ橋であり、新潟粟の木川橋、岩船明月橋、西頸筒石橋、中蒲月見橋、北蒲大橋、刈羽天保橋、西頸海川橋の七ヶ橋は近く起工せんとするもの又は設計其他の準備中であるが、何れにしても五月中若しくは六月初旬に全部着手の筈である。更らに八年度分は時局匡救事業と改稱し、總工費二十一萬九千餘圓で中頸一之橋、同瀬渡橋、中蒲山本橋、西蒲西川橋、北蒲紫雲寺橋、同安全橋、東頸横住橋、中頸飯山橋、同野趣味橋、西頸根知川橋の十ヶ橋を架替の計畫であり、九年度分としては總工費二十一萬九千餘圓で中魚人間川橋、同羽根川橋、新潟葛蒲橋、西頸海川橋、新潟稻荷橋、中蒲小山橋、中蒲龜田橋、中蒲大橋、古志猿橋、三島新道橋、南魚二子澤橋、中頸上名柄橋、東頸小松橋、佐渡國府橋の十四ヶ橋を架替計畫である。以上の計畫が實現したら同縣の交通網は完備するであらう。

### 糸魚川町自動車道路綱計畫

西頸城郡糸魚川町では舊臘二十一日の大震災に鑑み罹災地を中心とし九ヶ線の自動車道路綱計畫を立て之れに要する資金七萬圓の起債認可あり道路用地買収契約も善導寺、徳正寺を除き他は成立したが十七日更に縣より前記九ヶ線の復興道路起工認可の指令に接した町當局では法外な高値を唱へて町當局を手古ずらしてゐる善導寺に對しては土地收用法の適用を請求すべく更に前記九ヶ線は何れも市街地建築物法の適用を受け建築線となつてゐるので幅杭を打ち建築物の設置を法を以つて拒む事に決定した。

### 東 海 方 面

#### 時局匡救産業開發道路々線の決定

愛知縣では本年度の時局匡救、産業開發

兩道路改修事業は、總工費五十四萬九千圓（内三分ノ一國庫補助）を以つて開始するた  
め工事箇所を調査中であつたが、四月五日  
左の如く路線の決定を見たので、六月末頃  
から一齊に着工することになつた。

### 時局匪救道路の部

稻橋、瀬戸線（瀬戸市）。古知野、樂田線  
（丹羽郡大口、古知野）。小山、津島線（海  
部郡立田）。成岩、大野線（知多郡成岩）。稻  
橋、瀨戸線（西加茂 藤岡）。花澤、岡崎線  
（東加茂郡松平、額田郡岸津）。天白、岡崎  
安城線（碧海郡高岡）。龜六、豊川線（額田  
郡宮崎）。赤澤、豊橋線（渥美郡高豊）。田原、  
白須賀線（渥美郡田原、杉山）。豊橋、本郷  
線（八名郡金澤）。名古屋、田口線（南役樂  
郡郡内）。坂宇場、稻橋線（北役樂郡上津具）

### 産業開發道路の部

岩倉、一宮線（一宮市、圓羽郡西成）。名  
古屋、大山線（東春日井郡勝川小牧）。名古  
屋、舉母線（西加茂郡三好、舉母）。三谷、  
豊橋線（寶飯郡御律、三谷大塚）。田原、福

### 地方通信

江線（渥美郡福江）。豊川、氣賀線（八名郡  
石巻）。名古屋、常滑線（知多郡旭）。

### 國道蟹江一色間の改修

海部郡蟹江町から愛知郡一色町境までの  
内務省直管國道改修工事は昨年四月着手せ  
られ年度末の本年三月三十一日までに完成  
の豫定であつたが橋梁用の鐵材の關係で二  
ヶ月延期となり五月末日までに完成の豫定  
である。

### 縣道名瀬線竣工

名古屋から瀬戸へ通ずる縣道名瀬線の  
（第一期工事）改修工事は今回竣工したので  
四月十四日地元たる名古屋市外守山町守  
山、小幡の共同主催で守山町役場にて盛大  
な竣工式が舉行された。

### 半田龜崎兩町間新道路築

#### 造計畫

愛知縣知多郡龜崎町稻生助役は半田町本

町通り改修の北部が改修に着手したについ  
て縣道（半田舉母線）である龜崎町乙川か  
ら龜崎に到る道路の屈曲甚だしいのを改修  
したいと四月十三日半田土木工區所長を訪  
問した處、同縣道の改修は武豊線をガード  
をもつて横斷してゐる關係あるため本縣で  
も小都市の都市計畫上からこの改修に際し  
ては舊道の改修擴張をなすよりむしろ新に  
武豊線を横斷せず半田町の縣道終點から武  
豊線に沿ひて新道を築造し龜崎町に入ると  
きは用地は殆んど田畑であるため縣でもそ  
の計畫である旨を告げた。これは龜崎町の  
本郷と半田町との距離を著しく短縮し兩町  
とも便利となるので半田、龜崎、成岩三町  
の接近としては當を得たものとされ龜崎町  
ではその實現に努めることゝなつた。然し  
この計畫に對し龜崎町乙川市街部を形成せ  
るところではかくては同地の交通減少し市  
街地全體の衰微となるので多少の犠牲はあ  
るも將來のため改修の際は乙川市街地部を  
貫通してゐる現道路の改修を行はるべきで

あると反對運動を爲してゐる。

### 小學生の道路改修

愛知縣東春井郡篠木村大字東野及び下原に通ずる道路は近來非常に悪く降雨の際は通行できぬ有様で村民の非難的となつてゐたが今回同地の尋常科より高等科に至る通學生が歸宅後のひまを利用してリヤカーで土砂、バラス等を運搬して改修し完全な道路となし通行の便を圖つた。この美舉は近ごろ同地方では大變な評判である。

## 近畿方面

### 京阪産業道路計畫

大阪から京都まで通ずる産業道路として又遊覽ドライブウェイとして百パーセントの利用價值を有する國道二號線の一部京阪國道が五月二十三日通したのを機として大阪と京都をつなぐ今一つの大幹線道路た

る京阪産業道路が大阪京都兩府土木部に於て計畫され京阪國道と相俟つて五年後には一大京阪産業交通網の確立を見ることゝなつた。この京阪國道の補助道路とも云ふべき産業道路は大阪府都市計畫として既に數年來着工々事を進めてゐる大阪を中心とする十六放射路線の一つ東淀川區長柄橋を起點とする大阪吹田線をそのまゝ延長し、現在の西國街道を擴張しつゝ京都まで幅員十メートル乃至十二メートルの補裝道路を完成しやうと云ふので、コースは出来る限り最短距離をとり、三島郡を縦斷し、山崎を経て京都府に入る管で吹田までは都計事業吹田山崎間は失業救濟事業として施工し、大阪吹田線は昭和十年度には完成する見込であるから少くとも十二年度にはこの産業道路も開通を見る管で、京都大阪兩府土木部では既に打合せも終り着々設計を練つて居り、來年度の府會には繼續事業として豫算案が提出される筈である。

### 宮山循環道路計畫

近來遊覽地として非常に發展した龍野町は春は櫻花、夏は鮎狩で賑ふ様になつたので町當局では更らに遊覽施設の充實を期するため現在の櫻道遊覽道路に連絡し、同町日山の中學校の東へ抜ける宮山循環道路を計畫し愈々本年度救濟土木事業として六月中に着工することゝなつた。

### 智見坂道路の改修

兵庫縣八鹿町に於ける八年度農村振興土木事業は同町馬瀬より城崎郡三方村智見に通ずる智見坂道路を改修することゝなつたので、西村八鹿町長川口八鹿土木出張所長等は現地を視察した。この工事が完成すれば城崎郡西氣村と八鹿町方面との交通は便利となるであらう。

### 北條新道の開通

兵庫縣加西郡で最大の農村振興土木事業

であつた北條町の入口北條神戸間の幅員六米延長一千六百七十米の新道路は總工費三萬圓、使用延人員九千二百餘名にて今回竣工したので十日盛大なる開通式が舉行された。

### 失業救済土木事業の美談

兵庫縣加古川町役場土木係石原權三郎、長門信吉兩氏は今回の農村救済土木事業南備後町道の改修監督に當り手當金として二百二十圓を交付されたが兩氏は俸給を貰つて仕事してゐるものであるから手當金など貰ふことは出来ない、これを町營の土木事業役に使つていたゞきたいと庄野町長に對し寄附方を願ひ出た。町長は兩氏の奇特なる行爲に感謝し町會に寄附採納の件を提案した。

## 中國方面

### 廣島——吳國道改修事業

地方通信

廣島、吳國道改修事業は昭和七年度から開始、工費十萬圓で海田市矢野間一キロ六はすでに竣成し、八年度事業區域はこのほど告示されたが、右によると八年度は工費五十萬圓で廣島、吳兩側から改修することとし、廣島側は七年度事業に引續き安藝郡矢野町字小島から同町字小田にいたる一キロ二、吳側は吳市吉浦字立花から字狩留賀にいたる九百六十メートルであるが、この區間中最難工事の吉浦トンネルは二百五十五メートル工費約十五萬圓を要するものとみられてゐる、用地買収交渉はすでに開始し、五月中旬には事業に着手する豫定で、現在海田市にある廣島、吳國道改良事務所の出張所も今月中には吉浦町に設置することになつた。

### 海田、矢野間新設國道の破損

このほど竣工した内務省直營廣吳第三二號新設國道海田——矢野間は、昨今の降雨

に大小六十數ヶ所の浸水破損箇所を生じ、甚だしいのは中央鋪裝部の兩面下部にも穴を生じてゐるところさへあつて、かつては海田川上流の氾濫で十數町歩の田畑の流失や、列車の顛覆に幾十人の生靈を奪はれ、また坂小學校のごとき二度までも水神のため倒壊した悲惨事を経験してゐる。この地方の人たちはわづかの水害でも神靈を病み、新國道の破損についても種々の取沙汰をしてゐる。

### 都市計畫街路十日市

#### 荒神線の着工

廣島驛から已斐驛にいたる廣島市東西大幹線の一部である都市計畫街路十日市——荒神線第一區（相生橋西詰から左官町停留所まで）延長百四十五メートル、幅員二十五メートルはいよいよ着工の運びになり十日以内に用地買収交渉を開始することになつた、なほ小網町——江波線第三區（神崎小學校裏通から五間道路まで）延長三百四



十メートル幅二十二メートルは用地買収を終つたので、十五日午前十一時から路面並に路盤工事の公入札を市役所で執行した。同道路の歩道は各三メートル七、コンクリート舗装とし、車道は砂利築造、期限は百二十日、將來は街路樹も植ゑる豫定である。

### 長束——祇園、原の舗装道路完成

去る二月はじめに着工爾來工を急いでゐた廣島市外長束村から祇園村を経て原村にいたる縣道アスファルト舗装工事（延長約三キロ）はこのほどほとんど完成、名にし負ふ關西屈指の郊外諸車交通地帯にくつきりと明るい彈道線を描いてゐる。この幅員は縣道三間に對して十五尺したがつて三尺はちぢめられたこととなるが、祇園村だけは路面地先百五十餘戸が各自受益負擔によつてコンクリートで追舗し路面障害を除くことになつた。

尙未舗装地の隣接縣道廣島市一部が完成

すれば、垣々たる舗装道路ができあがり、路面障害がなくなるためスピードのスリルや、タイヤのキツスに酔つて思はず疾走させたり、物珍らしさから、子供らがスケート遊戯などをはじめて交通禍を惹起しないやう田園に新しく加へられた近代交通路の憂鬱を未然に防止すべく祇園署では取締中である。

### 吉田——八重線内壬生町工事の竣工

高田、山縣兩郡を結ぶ縣道で、八重から壬生を経て、高田郡吉田町と廣島市に通ずる吉田——八重線内壬生町川井地内の改良工事は（幅員六メートル六十二路線延長一千二百四十メートル）本縣の七年度匡救土木事業として地元壬生町の直營で七年十月十五日起工、四月三十一日竣工これが竣工式は地元壬生町の主催で五月五日午後三時から盛大に舉行された。同路線は高田、廣島市に通ずる要路で近時交通頻繁なるため

これが幅員擴張は關係地方民の多年熱望してゐたところで、こゝに宿願が達して地方民の欣喜は勿論、交通運輸の上に一大至便となり、大いに地方産業發達に資するであらう。

### 尾道驛構内地下道竣工

政府の緊縮政策に祟られて、大正十五年尾道驛改築工事以來延期の憂目をみてゐた同驛構内擴張殘餘工事は尾道市民多年の要望による同驛西方西御所町一番踏切地下道設置工事とともに、昨年末から總工費五萬三千圓をもつて工を急いでゐた、地下道工事は九日立派に竣成いよ／＼十二日ごろから車馬の交通を許すこととなつたが、これにより從來の踏切上の事故は完全にノックアウトされ多大の便利を得ることとなつた。

### 玉島町路線改修

岡山縣淺口郡玉島町大字玉島字古新町よ

り玉島區裁判所を経て同町新地町に通ずる道路は従來幅員狹隘加ふるに屈曲甚しく之が改修は兼てより論議されてゐたが愈々近く施行されることになり有志の寄附で地所買入を終へ幅員十尺の直線道路に改修することとなつた。

## 九州方面

### 福岡縣本年度失業應急土木事業大綱

福岡縣では縣下の失業者が相變らず其数を減せぬ實狀に鑑み前年通り都市並にその附近は勿論地方まで普遍的に事業を起し失業防止と應急的救済を圖ると共に地方開發に資せんとして五月十二日本年度失業應急土木事業の大綱を決定した。その事業費總額は二百十九萬八千八百九圓(工事費二百九萬千九百六十一圓、勞働手帳作成費千三百圓、事務費十萬四千八百二十八圓)にし

て、使用人員は縣下の要救済失業者の七十パーセントたる五十萬九千九百四十三人(一日平均三千四百人)である。尙勞力費は六十三萬六千六百圓、國產材料費七十四萬千四百六十四圓であり、事業の内譯は道路工事(其の一、九十三萬七千九百十六圓其の二、十四萬一千七十五圓)橋梁工事(十九萬七千四百十二圓)河川工事(九萬五千六百六十七圓)で、工事箇所は道路六十二ヶ所橋梁二ヶ所、河川一ヶ所、計六十五ヶ所とし五月廿日から着工した。

### 大牟田市の土木管區新設

#### 問題有望

大牟田市では土木管區新設問題につき屢々縣當局に陳情する處があつたが縣當局でも現在柳河土木管區の管掌事務の大部分は大牟田市並に附近町村の關係事務を以て殆んど占めて居るの實狀を了解して居り只新設に伴ふ經費關係のみが考慮されつゝあるとのことで同問題は最近著るしく好望され

るに至つた模様である。

### 銀水村縣道着工

大牟田、瀬高間の縣道工事は目下柳川土木管區の手で着々工事を進めて居るが、大牟田市外銀水村字本村即ち銀水川から倉永に至る縣道敷の買收額につき當局と地元との間に意見の相違を來し一時工事中止の已なきに至つて居た所五月六日夜地元の古賀村議等が土木管區側と種々交渉したる結果管區側では事情參酌の上買收價格を一部増額した爲久しい間紛糾を重ねてゐた案件も茲に無事解決し七日から工事に着手した。

### 千石の林道竣工

福岡縣鞍手郡宮田町千石土工保護組合は昭和六年四月組合設立以來同六、七兩年度の二ヶ年繼續事業として千石溪谷を廻る林道工事を計畫し着々實施中であつたが之が森林利用面積六百五十町歩路線延長二千八百三十米幅員三八米突工事費總額一萬四千

九百六十六圓で愈々去月竣工したので五月十一日午後一時から林道起點に於て竣工式を擧行した。

寶滿川橋の起工

福岡縣朝倉郡夜須村と筑紫郡筑紫村を繋ぐ寶滿川橋は愈災害復舊工事として國庫補助を受け架設することとなり五月一日工事請負入札を行つたので近日中に起工するが同橋の長さは六十四米突橋脚六米突四〇幅員五米突十の鐵筋コンクリート製で工費は九千三百五十圓である、尙同橋は農村振興土木事業として本年度豫算に計上され改修されることになつてゐる甘木——原田縣線縣道の最重要な橋梁で竣工の曉は從來の貧弱な假橋に反し交通上非常な便宜にならう。

九州山口沖繩各縣土木課長會議

第六回九州山口沖繩各縣聯合土木課長會議

議は前回の決定に基き四月十八日宮崎縣の主催で同縣廳會議室に開催各縣相互に連絡を保つて施行すべき事項その他共通的問題に付ては出來得る限り一致協力して解決に當り土木行政に貢獻すべく協議したが出席者、日程、議事概要は次の通りであつた

出席者

内務省	内務技師	宮本武之輔
下關土木出張所	同	山田 三郎
福岡縣	土木課長	坂本 一平
	道路主事	市丸 西彦
	土木技師	梅原 達也
山口縣	土木課長	關屋 新造
	道路主事	吉田 耕造
	土木課長	榊井 照藏
熊本縣	道路主事	小引 掌
	道路書記	原田 義人
佐賀縣	土木課長	谷 堅
	同	大島 正之

大分縣

道路主事 大津 壽  
道路技師 寺田 甫

沖繩縣

道路主事 松浦 忠平  
道路書記 法元 信良

鹿兒島縣

土木課長 中川幸太郎  
道路技師 永戸 三郎

長崎縣

缺席 大藪初太郎

宮崎縣

土木課長 山田 一  
道路主事 谷川 高德  
地方技師 進藤 政  
道路技師 黒岩 敏治  
土木技師 長尾 貞作  
土木技師 中島 忠次

會議日程

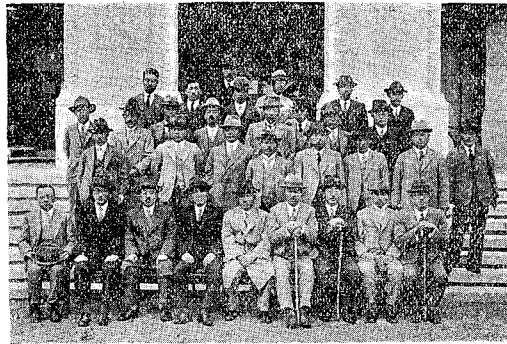
四月十八日 宮崎神宮參拜

祖國日向産業博覽會視察

晚餐會

四月十九日

鷄戶神宮參拜、青島、西都原  
視察後延岡着工場其の他視察



九州山口沖繩各縣土木課長會議出席者の寫眞

四月二十日

會議の概況

高千穂着名所舊蹟視察後解散  
當日木下宮崎縣知事は上京不在中なりし  
爲階川内務部長代つて開會の挨拶を述べ次

地方通信

で山田土木課長海場の推舉に依り議長席に  
着き

府縣土木課長ノ職務權限ヲ擴張スルコト  
時局匡救町村土木事業費配當標準及ヒ監督  
雜費ニ關スル件、府縣道及河川改良工事等  
ニ伴ヒ鐵道省關係工事ヲ生シタル場合其工  
事費負擔ニ關スル件、道路、土木職員費ハ  
農林省關係職員ト同様國庫ヨリ補助セラレ  
ンコトノ建議、農村振興市町村土木事業費  
配當ニ關スル件

時局匡救事業ハ昭和七年度以降大體三ヶ  
年事業ナルモ現時ノ農漁山村ノ狀況ヲ以テ  
セバ唯匡救事業施行ノ結果地方民ノ金融僅  
ニ圓滑ト爲リタルニ止マル而已ニシテ八年  
度配當額ヲ以テシテモ猶大同小異ノ結果ト  
成ルベク豫想セラル、ノミナラズ各町村ヨ  
リノ配當熱望額ハ相當多額ナルモノアリ九  
年度ハ事業費ヲ縮少セラル、由ナルモ斯ク  
テハ町村ノ失望甚ダシク工事ノ後始末ニモ  
困憊スル恐レアルニ因リ政府ハ宜シク實狀  
ヲ洞察シ九年度ハ寧ロ八年度以上ニ増額企

畫セラレ以テ積極的ニ自力更正ノ道ヲ講セ  
シメラレンコトヲ本會ノ決議ニ依り主務省  
へ建議スルコト

一、下級公共團體ガ府縣費支辨港灣工事費  
ノ一部ヲ起債ニ依リ寄附セントスル場合  
許可方針緩和方ニ關シ主務省ニ上申スル  
ノ件、國道改良工事速進ニ關スル件、府  
縣道ノ指定ニ關スル件  
等關係各縣の提案を協議し次回は沖繩縣  
に開會することに決定した。

宮崎縣に於ける道路工夫の表彰

國府縣道の路面の維持の良告は受持道路  
工夫の勤務成績の如何に依るので、宮崎縣  
では數年來之が能率増進の方途を講じ、其  
の一策として毎年道路工夫中成績拔群にし  
て他の範とするに足るものを表彰し以て一  
般道路工夫の發奮を促し尙、本人が將來益  
々職務に精勵することを期待してゐる。

## 宮崎縣に於ける道路掃除成

### 績優良町村の表彰

宮崎縣では縣下國府縣道の維持修繕に付ては平素百四十三人の道路工夫を督勵し、遺憾なきを期し居るが近時自動車交通が著しく發達し、一面國府縣道の延長も増加し四百八十七里の長きに至りたるに拘らず修繕費豫算は之に應じて増額する能はざるを以て縣のみの力にては、到底十全なる維持を期待し難きに至れり仍て數年來道路掃除並に小破修繕に對する地元市町村の協力を獎勵することとし、毎年前年度の成績優良なるものを審査嚴選の上田印村外二十ヶ町村を表彰した、其業績概要は左の通りである。

前記各町村は縣と協力して國府縣道の維持修繕に當り沿道住民をして路肩切下、雜草木の刈取、側溝の浚渫等の作業を年數回行はしめ或は進んで砂利を提供する等昭和七年度中の成績優良にして他の範とするに

足るものなり。

## 大分市電車通の道路鋪裝

### 工事

大分市の中央幹線道路、電車通りの鋪裝工事、大分驛前から農工銀行前までの五百間は眞ん中の電車軌道面三間幅を残して殆ど兩側のアスファルト鋪裝が竣工してゐるが軌道面の花崗石敷石鋪裝は工事負擔者側たる別大電鐵側がかねて同石材を廣島縣倉橋島へ注文中の處四月二十五日迄到着したので電鐵側では愈々二十七日からスピードをかけて花崗岩敷石鋪裝にとりかゝる事となつた、電鐵側の工事はほゞ五月二十日頃までには竣工するから、敷石鋪裝が完成せば電車通りは見違へるばかり美しくなるであらう。

## 幹線都計道路打合せ

大分市都市計畫委員の幹線都計道路に關する打合せ會は五月九日午前十時から市役

所で市都計委員、福岡、永松、江藤の三氏に高田市長、大島助役出席の上開會大分市街部から南大分へ至る幹線四線、大分瀧尾附近三線について打ち合せたが右は縣の都計委員會の下打合せである。

## 由布院道路の起工

別府市並に朝日、石垣兩村では五月九日午後一時より別府市役所に土木關係者會議を開き温泉地帯の永年の懸案となつてゐた境川の砂防工事及び時局匡救由布院道路開鑿に就て協議を遂げたがその結果、堀田温泉より鶴見山麓に至る由布院道路は延長四千米突延入夫は三萬人總工費は二萬九千四百圓で目下基礎工事に着手してゐるが本年度一杯に完成するであらう。

## 別府市の道路鋪裝

別府市土木委員會は十一日午前十時より招集出席全員、主として八年度中に完成せしめる道路鋪裝の施工方針に就て具體的協議を遂げたが大體に於て總工費七年度七萬

九千八百圓中殘額五萬九千餘圓と八年度五萬圓を合せて約十一萬圓を投じ既に基礎工事の完成せる秋葉、南町、中町並に縣道では流川海岸通り、驛前北町通り等の順位で地元負擔金の纏まつた分より遅く共五月二十日頃から一齊に着工する事となつた、何れも年度内に竣工する方針である。

## 別大國道工事

第二年度工事として豫算三十萬圓で年内に竣工する失業救済別大國道中白木、田ノ浦間の工事は愈々近日中本格的に取りかゝるのでこれが人夫供給上の打合せのため後藤八幡村長と大島大分市助役は三日午前十一時市役所で打合せを行つた。

## 寺床林道の竣工

大分營林署では玖珠郡野上村から同郡飯田村寺床國有林に通ずる林道の開鑿中であつたが第一期工事完了而も關係野上村字瀨上部落では此の林道開鑿によつて物資運搬上又直接には農閑収入一石二鳥の利益を得更に營林署で同部落縦斷的林道開鑿の準備中であるに鑑み六十戸の同部落では營林署

の農村土木事業の恩恵を禮讃してゐるので佐藤野上村長は同部落を中心として五月廿日第一期寺床林道の落成式を舉行する事に決し其準備に着手した。

## 新博多町の道路舗装

中津市の道路舗装工事も殿町筋を皮切りに驛前から本町通りと二線が完成、同方面交通路に面目を發揮して居るが之れが結果に鑑みて同市目貫の場所として、當然舗装工事を斷行しなくては區民の面目にも及ぼすと云ふ意味から前記二ヶ路線の着工當時から云々されて居り新博多町筋でも愈々起工する事に町議纏まつて市當局の應援を得て昨今測量中であるが測量終了後直に工事に着手する由である。

## 野津原辻原間の道路改修

大分縣大分郡野津原村に於ては本年度の匡救事業施行に關し去る五月四日午前十時より同村役場樓上に村會を開催之が協議を行ひたるも議論纏出し容易に議決されなかつたが、漸く今如例の讓歩により野津原辻原間の道路改修を行ふことに決定し近く其手續きを爲すことになつた。

## 享保井路の竣工

大分縣大分郡植田村の生命線たる三百數十町歩に亘る田圃灌溉用水路として四百年の歴史ある享保井路は往時築造以來改修せざりしたため通水至難の箇所もあり村當局及び地主、耕作者間に於ても屢々改修の議括頭せるも工費其他で遷延してゐたが今春來當局の指導の下に匡救事業として愈々改修に決し、去る二月起工し今回竣工したので五月十三日盛大なる竣工式が舉行された

## 提子井路の改修

大分縣大分郡東庄内村龍原及同郡谷村に亘り約四百歩を灌溉する町提子井路は昨年初冬から幹線井路の大改修工事を起し豫定以上の成功を修めて既に通水するに至つたので十四日若葉齋の谷村提公園同井路記念碑前で大改修落成式を舉行した。同井路は大分川の支流芥川を水源とし幹綿四千六百五十六間は大分縣大部分檢峻豪岩たる峽谷を縫ふ難工事で此の改修費約三萬圓、工事責任者別府市會議員垣迫杉太氏の周密の施工と組合員一同の熱意が此の成功を得たものである。